

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 19 日

青 森 県 知 事 殿

提出者

住 所 青森県三戸郡五戸町大字切谷内字淋代 14-1

氏 名 株式会社 大山建工

代表取締役 大山重則

電話番号 0178-68-3353

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 大山建工
事業場の所在地	青森県三戸郡五戸町大字切谷内字淋代 14-1
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	1,500,000,000 円
③ 従業員数	48 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	運搬・処理場搬入⇒中間処分⇒最終処分 (別紙の通り)

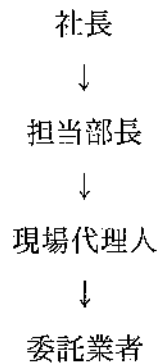
（日本工業規格A列4番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	—
	排出量	1,109.965 t	t
	(これまでに実施した取組) ・材料搬入数量の適正管理により 余材発生を抑える。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	—
	排出量	990.800 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、 ・廃棄物発生抑制を考慮した施行方法の採用。 ・資材や機器の無梱包化、実寸梱包化、再利用可能な梱包材の使用。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、金属くずは分別を実施するとともに、他の廃棄物が混入しないように保管。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、廃プラスチック類、がれき類についても分別を実施。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	—
	全 処 理 委 託 量	1,109.965 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,030.233 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。		

(第 5 面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	—
	全 処 理 委 託 量	990.800 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	920.600 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用、熱回収が可能な廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理を委託する。 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。		
	※事務処理欄		

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)別紙

産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物の種類	処理工程(運搬・処理場搬入⇒中間処分⇒最終処分)				
	運搬・処理場搬入	破砕	再生利用		
コンクリートがら	運搬・処理場搬入	破砕	再生利用		
アスファルトがら	運搬・処理場搬入	破砕	再生利用		
レンガ破片など	運搬・処理場搬入	破砕	管理型埋め立て		
ガラス・陶器くず	運搬・処理場搬入	破砕	管理型埋め立て		
廃プラスチック	運搬・処理場搬入	破砕	再生利用		
金属くず	運搬・処理場搬入	選別	再生利用		
混合廃棄物	運搬・処理場搬入	選別	破砕	管理型埋め立て	
紙くず	運搬・処理場搬入	破砕	RPF化	再生利用	
木くず	運搬・処理場搬入	破砕	再生利用		
繊維くず	運搬・処理場搬入	焼却	管理型埋め立て		
廃石膏ボード	運搬・処理場搬入	破砕	管理型埋め立て		

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状		計画	
【前年度(4年度)実績】		【目標】	
産業廃棄物の種類	排出量	産業廃棄物の種類	排出量
コンクリートがら	95.870t	コンクリートがら	86.000t
アスファルトがら	850.32t	アスファルトがら	760.000t
ガラス・陶器くず	36.060t	ガラス・陶器くず	32.000t
廃プラスチック	21.670t	廃プラスチック	19.000t
金属くず	0.709t	金属くず	0.600t
混合廃棄物	26.004t	混合廃棄物	23.000t
紙くず	9.230t	紙くず	8.000t
木くず	52.434t	木くず	47.000t
繊維くず	0.300t	繊維くず	0.200t
廃石膏ボード	17.368t	廃石膏ボード	15.000t

(第4面)別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状					
【前年度(4年度)実績】					
産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
コンクリートがら	95.870t		95.870t		
アスファルトがら	850.32t		850.32t		
ガラス・陶器くず	36.060t				
廃プラスチック	21.670t		21.670t		
金属くず	0.709t		0.709t		
混合廃棄物	26.004t				
紙くず	9.230t		9.230t		
木くず	52.434t		52.434t		
繊維くず	0.300t				
廃石膏ボード	17.368t				

(第5面)別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

計画					
【目標】					
産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
コンクリートがら	86.000t		86.000t		
アスファルトがら	760.000t		760.000t		
ガラス・陶器くず	32.000t				
廃プラスチック	19.000t		19.000t		
金属くず	0.600t		0.600t		
混合廃棄物	23.000t				
紙くず	8.000t		8.000t		
木くず	47.000t		47.000t		
繊維くず	0.200t				
廃石膏ボード	15.000t				